

中川村地球温暖化対策推進協議会だより

中川村地球温暖化対策推進協議会

地球温暖化対策実行計画

(区域施策編) ①

あらためてご紹介する、2050年までの目標

2024年3月に策定された村の地球温暖化対策の実行計画は、主に村の業務や施設に関する事務事業編、家庭や事業所など民間の活動に関する区域施策編の2つに分かれています。

細かな内容は村のホームページからご覧いただけますので、ここではざっくりとした内容をご紹介しますが、基本的には2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにするという内容です。

CO₂実質排出量※の削減目標

基準年度(2013年)の排出量	24100トン
中期目標(2030年)の排出量	8800トン
長期目標(2050年)の排出量	-100トン

※実質排出量＝総排出量から森林吸収分などを差し引いたもの

2013年度の総排出量は34000トン。これをあと25年で基本的にはゼロにしないといけない。国全体の平均データですが、一般家庭の排出量は年間4トン/世帯になっていますが、一戸建てに住んでいる方が多く、自動車の保有台数も多いことから、村での世帯当たりの排出量はまだもう少し多くなると考えられます。戸建は集合住宅の1.8倍エネルギーを消費し、村の自動車保有台数は全国平均の1.5倍ほど多いのです。

家庭での取り組みの第一歩は省エネ。まずは使うエネルギーの量を減らすことです。そして、次に省エネや再エネにつながるような機器や住宅設備への改修・買い換えなどです。また、使用するエネルギー源を化石燃料から再生可能エネルギーに変えることも大切です。薪などの木質バイオマス燃料は地産地消ができ、地球にも優しいので、利用を増やしていきたいところです。国や県、村の補助などを使えば、負担を減らしながら取り組むことができます。

なかなか大変な目標であること、ご理解いただけたでしょうか？できることから少しずつ、でも確実に。みんなで前に進んでいきましょう。

地球温暖化用語辞典

「水素の色？」

H₂ H₂

H₂ H₂

H₂ H₂

水素には「色」があります。

水素って無色透明の気体のはず、いったいどういうことなのでしょう。

統一ルールがないため、代表的な種類や分類だけをご紹介しますが、水素がどのように作られたのか、で色分けをすることがあるのです。

グリーン

再生可能エネルギーを利用

ブルー

化石燃料を利用、二酸化炭素は回収

グレー

化石燃料を利用、二酸化炭素は回収しない

ブラウン

石炭を利用、二酸化炭素を多く排出

イエロー

原子力を利用、二酸化炭素は出ない

ホワイト

自然界に存在する水素を取り出す

水素であればよいという訳でもないのが、難しいですね。



令和7年度

クルマとつなぐ屋根ソーラー補助金

補助金額

太陽光パネル + V2Hのみ	V2Hのみ	太陽光パネル +蓄電池	蓄電池のみ
最大 25万円 補助	最大 20万円 補助	最大 20万円 補助	最大 15万円 補助

※いずれも既存住宅が対象となります

住宅のエネルギー自立化を促進し、屋根ソーラーとEVを組み合わせて利用するライフスタイルを推進するため、蓄電池・V2Hの設置に対して補助します。

屋根ソーラーで発電した電気がEVで走る。
エネルギーは自宅ですべてのカーライフ！

- 電動車に充電
- ガソリンの心配なし
- 走行に使う EV
- 自給でつくった電気で夏までエアコンつけっぱなし！
- 家庭用電源「ソーラードック」(オプション)
- 充電

『V2H』があれば、EVを蓄電池としても使える！
V2H(Vehicle to Home)を取り入れれば、EVから電力を家庭内に供給できる。災害時の非常電源としても使えます。

※V2Hとは
V2Hとはクルマと家との間で電力を送り受け合えるシステムのこと。家庭内での電力消費や災害時の非常電源として活用できる。車から電力を送ることで停電時でも生活が送れる。

『家庭PV』の方にも特に注目してほしいです☆

※家庭PVとは
売電収入だけでなく自家消費も期待できるシステムのこと。災害時も安心。また、将来の電気料金の削減にもつながります。

※V2Hのメリット
V2Hには、優れた性能に加え、様々な利点があります。屋根ソーラーで発電した電気を家で使うことができます。例えば、冷蔵庫や洗濯機など、さまざまな家電製品を動かすことができます。また、V2Hには蓄電池が付属しているため、夜間や曇りの日のように日照不足の際にも電力を確保することができます。

※V2Hのデメリット
V2Hにはいくつかのデメリットもあります。まず、初期費用が高額になることです。また、V2Hを設置するには、家の構造や配線などの確認が必要になります。さらに、V2Hの使用には専門的な知識が必要となる場合があります。

※V2Hの選び方
V2Hを選ぶ際には、信頼性の高いメーカーを選びましょう。また、V2Hの容量や機能などもよく検討してください。そして、V2Hの設置場所や角度なども考慮する必要があります。

※V2Hの今後の展望
V2Hは、今後もますます普及していくことが予想されます。政府からの補助金や税制優遇などの政策によって、V2Hの導入がさらに促進されるでしょう。また、V2Hの技術も日々進歩しており、より多くの利点を享受できるようになると考えられます。

※V2Hのまとめ
V2Hは、環境に優しいだけでなく、経済的にもメリットが多いシステムです。ぜひ、V2Hを検討してみてください。そして、快適な暮らしを実現しましょう。

※お問い合わせ先
詳しくは、各自治体の窓口または認定事業者にお問い合わせください。また、インターネット上の情報も参考にしてください。

※注意事項
本ページの内容は、あくまでも参考情報です。実際の制度や内容は、最新の法令や自治体の条例に基づいて変更される可能性があります。必ず、最新の情報をご確認ください。

※お問い合わせ先
詳しくは、各自治体の窓口または認定事業者にお問い合わせください。また、インターネット上の情報も参考にしてください。

※お問い合わせ先
詳しくは、各自治体の窓口または認定事業者にお問い合わせください。また、インターネット上の情報も参考にしてください。

太陽光＋蓄電
＝**県 20 万円＋村 10 万円**

太陽光＋V2H
＝**県 25 万円＋村 12.5 万円**

太陽光＋蓄電＋V2H
＝**県 40 万円＋村 20 万円**

蓄電のみ
＝**県 15 万円＋村 7.5 万円**

V2Hのみ
＝**県 20 万円＋村 10 万円**

蓄電＋V2H
＝**県 35 万円＋村 17.5 万円**

この補助金に、村独自の上乗せ補助を併用すると最大で**60万円**になりますが太陽光パネルだけでは補助対象にはなりません。蓄電システムかV2H充放電システムの設置が必須となりますので、ご注意ください。

上伊那地域振興局
環境・廃棄物対策課
電話 0265-76-6817

電気自動車を既にお持ちか、購入を検討されている場合には、補助を利用してV2H充放電システムを設置してみたいはかがですか？



長野県
中川村産

CO₂フリー
でんき

お申し込み条件等は
中部電力ミライズのWebサイト(右側の2次元コードから)などからご確認ください

